

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	日本アルファ電力株式会社 代表取締役 若濱 真之介
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビル11階

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・PPS事業 弊社は、工場や大規模オフィスビルといった大口需要家など電力自由化対象事業所への電力小売事業を実施します。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力事業管理部	
	連絡先	電話番号	03-5050-1888
		ファクシミリ番号	050-5864-2189
		電子メールアドレス	sato@alfa-power.co.jp
公表の 担当部署	名称	電力事業管理部	
	連絡先	電話番号	03-5050-1888
		ファクシミリ番号	050-5864-2189
		電子メールアドレス	sato@alfa-power.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日 ~ 2016年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	本社
		所在地:	東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビル11階
		閲覧可能時間	9:00~17:00
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	3	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.003	0.449	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.000	0.445	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギーを利用した発電所からの電力購入。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
8 (8)	100.00%	0 (19)	1.63%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし。

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特になし。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所の所有なし。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特になし。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特になし。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	日本テクノ株式会社 代表取締役社長 馬本 英一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51階

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・電気エネルギーに関する総合サービス業</p> <ol style="list-style-type: none"> キュービクル常時監視システム販売および省エネコンサルティング 高圧電気設備保安管理・点検業務 電気料金自動検針業務(テナントビルの自動検針システム) 電力小売事業 発電事業 <ol style="list-style-type: none"> 千葉県袖ヶ浦市にガス火力発電所(10.9万kW)を所有しております。 茨城県東茨城郡に100%出資である日本テクノパワー株式会社を設立し、太陽光発電による電気を当社需要家に供給しております。 子会社にて関西エリアに火力発電所を有しております。主に関西エリアへの需要調整用として供給しております。 一般電気工事 企業・住宅向け太陽光発電設備の販売 <p>・2009年6月より、お客様へサービスの一環として高圧電気設備の保安業務を行っている顧客に対して、電力小売事業を行っております。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力事業部 企画開発課	
	連絡先	電話番号	03-5909-8458
		ファクシミリ番号	03-5909-3043
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	電力事業部 企画開発課	
	連絡先	電話番号	03-5909-8458
		ファクシミリ番号	03-5909-3043
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日		～	2016年07月31日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	http://www.n-techno.co.jp	
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:		
		入手方法:		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署(電力事業部)に問い合わせ。		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	95	107

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.518	0.537	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.492	0.525	
調整後CO ₂ 排出係数	0.576	0.592	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

平成23年度より、木質バイオマス発電所から電力を小売で利用する事により、CO₂排出低減に取り組んでおります。
また、平成24年からは、自社発電所である高効率ガスエンジンだけで構成される袖ヶ浦グリーンパワー発電所からの電力を小売用として利用しております。
今後も、排出係数の低い清掃工場の余剰電力からの電力調達も積極的に行ってまいります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
554 (18,942)	10.35%	650 (14,945)	7.50%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

平成25年度より自社の太陽光発電所からの再生可能エネルギーの供給を行っております。また、平成23年度より木質バイオマス発電所からの電力の調達を行い、都内の需要家様へ供給を行っております。

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
2,729	1.42%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

平成23年度より、全国的に清掃工場の余剰電力による電力調達を行っておりますが、前年度は都内へ供給する清掃工場が減少しました。
今後も積極的に清掃工場からの電力を確保する為、入札参加を行ってまいります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・自社が保有しております袖ヶ浦グリーンパワーでは、14台のガスエンジンによる運転台数の制御や調整運転を行い、高効率な発電を行えるよう取り組んでおります。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・高圧電気の需要家様に当社のスマートメーターを導入し、電力の「見える化」と「理解化」で上手な省エネ活動をサポートする「電力コンサルティング」、省エネを実現させるための「省エネ設備改善」などを提案しております。具体的には、需要家様のPCでも電力使用状況を閲覧出来るサービスを提供し、効率的な電気の使用をお客様自身で運用・確認を行えるシステムを提供しております。
・また高圧需要家様に対して、電力使用状況の実績などの情報提供を電話や定期的な訪問を行い、需要家様に合わせた電気使用の効率化やCO2削減に向けたコンサルティングを行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・企業・家庭用に太陽光発電設備の販売・運用を行い、環境負荷の低い電源の拡販をしております。
・本社・全国営業所ではエコリーダーによる冷暖房の温度管理(チェックシートによる管理)、昼休みや退出時の消灯チェックを行っております。また、全社的にパソコンディスプレイのこまめな消灯、コピーを行う際には裏紙を使用するなどの省エネ活動を行っております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	日本ロジテック協同組合 代表理事 軍司昭一郎
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区佃一丁目11番8号

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力購買事業 組合員が等しく利用する電気を組合が一括購入し、組合員へ廉価にて給電。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	日本ロジテック協同組合 業務部	
	連絡先	電話番号	0479-26-4333
		ファクシミリ番号	0479-20-0081
		電子メールアドレス	k.harano@j-logitec.jp
公表の 担当部署	名称	日本ロジテック協同組合 業務部	
	連絡先	電話番号	0479-26-4333
		ファクシミリ番号	0479-20-0081
		電子メールアドレス	gyomu-jihon@j-logitec.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日		～	2016年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署への問合せ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	11	29

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.390	0.286	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.626	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.398	0.453	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・前年度の取り組みを引き継ぎ、温対法における調整後の排出係数は国内クレジットを獲得し、排出係数目標0.2台

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
4,317	14.78%	(25,266)	25.24%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・前年度より引き続き、ごみ焼却場や清掃工場、太陽光発電からの買取を行っています。

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	22,224	21.46%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・昨年に引き続き、ごみ焼却による余剰電力の購入、清掃工場などの余剰電力の購入利用の促進に努めます。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・現状自社所有の火力発電を保有していないため、具体的な取り組みはありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・組合が、温対法における排出係数の削減は国内クレジットを用いて実現したことを組合員にアピールするとともに、組合員への地球温暖化対策への啓蒙活動をおこなっております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・小水力発電の事業化に向けた調査活動を行っております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	パナソニック株式会社 代表取締役社長 津賀 一宏
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	大阪府門真市大字門真1006番地

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>PPS事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は、2005年6月より本事業を開始し、主に自社グループの工場やオフィスビルへの電力供給を行っています。 ・都内への電力供給開始は、2008年4月です。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	グローバル調達社 原材料トレーディングセンター 銅・アルミ・エネルギー部 エネルギー課	
	連絡先	電話番号	050-3587-7545
		ファクシミリ番号	06-6937-7229
		電子メールアドレス	citd.gm-jepx@gg.jp.panasonic.com
公表の 担当部署	名称	グローバル調達社 原材料トレーディングセンター 銅・アルミ・エネルギー部 エネルギー課	
	連絡先	電話番号	050-3587-7545
		ファクシミリ番号	06-6937-7229
		電子メールアドレス	citd.gm-jepx@gg.jp.panasonic.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日		～	2016年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署へ問合せ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	5	4

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.435	0.422	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.354	0.376	
調整後CO ₂ 排出係数	0.430	0.408	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

<ul style="list-style-type: none"> 他の化石燃料に比べて環境負荷の低い天然ガス発電所から主な電力を調達し、東京電力管内の電力供給に充当しました。 また、太陽光発電所からの電力買取を開始し、再生可能エネルギー由来の電力が増加しました。 これらにより、前々年度0.435から前年度0.422に約3%原単位が向上しました。
--

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0 (0)	0.00%	(91)	0.98%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点では、自社発電所として再生可能エネルギーによる発電はありませんが、低圧および高圧の太陽光発電所からの調達を開始しました。

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーで発電された電力の調達を検討していきます。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・自社火力発電設備なし

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・各月の電気料金請求時に、電気使用実績のうちの昼間電力量を明記し、電力需給バランスを意識したエネルギー管理の一助としてお知らせしています。
- ・環境省や経済産業省、また東京都の環境関連政策に関する情報収集に努め、需要家に提供していきます。
- ・弊社太陽光発電システムを需要者にも提案していきます。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・京都メカニズムの活用について調査、検討を行っていきます。
- ・必要に応じ、京都メカニズム活用およびCO2クレジット獲得を検討していきます。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社V-Power 代表取締役 小室 正則
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都品川区東品川3-6-5

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・PPS事業 弊社は、オフィスビルといった大口需要家など電力自由化対象事業所への小売を目的とした発電事業を実施します。</p> <p>・発電事業 PPS事業実施のために、親会社「株式会社バイテック」にて、メガソーラー発電所を所有しております。バイオマス、水力といった再生可能エネルギーについても開発を検討中。 関係会社「株式会社おたローカルエナジー」にて、ガスエンジンを所有しており、需給逼迫時等に(需要の増減あるいは自然エネルギーの増減に対し)活用しております。</p> <p>・その他 地域PPS提案をはじめ自治体のエネルギー地産地消サポートをすすめてまいります。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社V-Power	
	連絡先	電話番号	03-3458-4745
		ファクシミリ番号	03-5479-1535
		電子メールアドレス	vp.center@v-power.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社V-Power	
	連絡先	電話番号	03-3458-4745
		ファクシミリ番号	03-5479-1535
		電子メールアドレス	vp.center@v-power.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日 ~ 2016年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	本社1階ショールーム
		所在地:	東京都品川区東品川3-6-5
		閲覧可能時間 9:00~17:00	
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率	
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.264		100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	0.413		
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.573		

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・太陽光発電所からの受電を主として、全電源のCO ₂ 排出係数は削減目標を達成しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	476	57.51%
-	-	(476)	

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・再生可能エネルギーの弊社買取量(全国)は18,502千kWhになり、弊社利用量は476千kWhになります。
--

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・未利用エネルギーによる発電した電気の購入はありませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

子会社「株式会社おおたローカルエナジー」にて、ガスエンジン(×3)を所有しており、稼動の際には定格出力に近い出力を維持させることで、熱効率の向上を図る。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・弊社親会社の株式会社バイテックでは、都内の顧客に対し、省エネ製品の情報提供を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・弊社親会社の株式会社バイテックでは、ISO14001を維持しており、「全社員の力で地球温暖化を防ごう」のスローガンのもと、CO2排出量の削減を実施中。
具体的には、電気代の削減・廃棄物の削減や、社有車の保有台数を削減し、ガソリンの使用量を減らすなど行っております。毎年削減結果を社員に対し公表し、更なる地球温暖化防止に向かって社員が一丸となって取り組んでおります。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	プレミアムグリーンパワー株式会社 代表取締役 八田 幹人
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区丸の内三丁目1番1号

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■新電力(PPS)事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は、工場や業務用施設・オフィスビルなどといった電力自由化対象事業者への小売りを目的として電力事業を実施しています。 ・2010年4月より事業を開始しました。 <p>■発電事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親会社である出光興産(株)が、再生可能エネルギーを利用した発電事業を行っています。 <ul style="list-style-type: none"> ・風力発電事業者である二又風力開発(株)へ出資しています。 ・門司、姫路、小名浜に太陽光発電所を建設し、運転しています。 ・土佐グリーンパワー(株)への出資を行い、バイオマス発電所を建設し、2015年4月より運転開始しました。 ・当社は、二又風力開発(株)および土佐グリーンパワー(株)、出光興産(株)太陽光発電所からの電力を調達しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	出光グリーンパワー株式会社 管理部 ※プレミアムグリーンパワー(株)の業務委託先	
	連絡先	電話番号	03-3213-9397
		ファクシミリ番号	03-3213-3654
		電子メールアドレス	igp@idemitsu.com
公表の 担当部署	名称	出光グリーンパワー株式会社 管理部 ※プレミアムグリーンパワー(株)の業務委託先	
	連絡先	電話番号	03-3213-9397
		ファクシミリ番号	03-3213-3654
		電子メールアドレス	igp@idemitsu.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日		～	2016年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署に問合せ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0.95	0.17

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.022	0.007	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	0.023	0.261	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

調達した電力のはほぼ全量を、風力・バイオマスなどの再生可能エネルギーを利用して発電した電力、および未利用エネルギー等を利用して発電した電気とし、排出係数が極めて低い電力の供給を行いました。
※天候の変動等の不可抗力により再生可能エネルギー・未利用エネルギー以外により発電した電力を一部調達することもありました。

算出ルール変更により、調整後CO₂排出係数が前々年度対比で大幅に増加しましたが、前年度と同じルールで算定した場合は、0.010であり、実質的には、温室効果ガス削減の取組は着実に進捗しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
3,567 (35,743)	82.90%	3,788 (12,269)	53.43%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

二又風力開発(株)から風力発電による電力を調達したほか、バイオマス発電による電力を調達しました。再生可能エネルギーの利用率については、前々年度対比で減少しましたが、これを補う形で未利用エネルギーを積極的に導入しました。

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
7,131	16.06%	11,479	47.88%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

清掃工場でのごみ処理に伴い発生する熱を利用した発電による電気を積極的に調達しました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社では火力発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・国や東京都の環境政策に関する情報収集に努めています。
- ・需要家訪問時に、政策の動向や制度について説明を行なっています。
- ・お客様が電力の使用状況を確認し省エネへの取組に活用できるように、専用サイトによる情報サービス(出光グリーンネット)を提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

親会社の出光興産株式会社では、毎年「出光レポート」にて出光グループの環境への取組を具体的に報告しています。

また、身近な活動例としては以下を実施しています。

- ・夏はクールビズ、冬はウォームビズを実施しています。
- ・オフィスの空調は、夏29℃、冬20℃の設定とし、省エネを図っています。
- ・昼休み時の消灯、不要時のパソコン電源OFF等節電に努めています。
- ・印刷物は両面印刷・縮小印刷を基本とし、紙の節約による森林資源の保護を推進しています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社ベイサイドエナジー 代表取締役 森田 健次
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区銀座六丁目15番1号

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・発電事業 千葉県市原市にガス火力発電所(10.8万kW)を保有・運営し、特定規模電気事業者等へ電力を供給しています。 ・特定規模電気事業 2013年10月より、自社発電所等の電力を活用し、東京電力エリアで小売事業を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	総務担当	
	連絡先	電話番号	03-5565-4446
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	bse@bayside.co.jp
公表の 担当部署	名称	総務担当	
	連絡先	電話番号	03-5565-4446
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	bse@bayside.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日 ~ 2016年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	株式会社ベイサイドエナジー本店
		所在地:	東京都中央区銀座六丁目15番1号
		閲覧可能時間	9:30-17:00
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
		入手方法:	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	お問合せ頂ければメール・FAX等に対応致します。	

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	2	11

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.599	0.569	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.402	0.422	
調整後CO ₂ 排出係数	0.586	0.549	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

自社のガス火力発電所(千葉県市原市)は、コンバインドサイクル方式を採用しており、高い効率を実現しています。ガスタービン(空気圧縮機部)の洗浄による効率の維持、補機の運用方法見直しによる所内動力の削減(効率向上)に取り組みました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績はございません。

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績はございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社のガス火力発電所(千葉県市原市)は、コンバインドサイクル方式を採用しており、高い効率を実現しています。ガスタービン(空気圧縮機部)の洗浄による効率の維持、補機の運用方法見直しによる所内動力の削減(効率向上)に取り組みました。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

問い合わせのあった需要家に対して、詳細な電力使用量データやCO2排出係数の情報提供を行っています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

自社発電所におけるエネルギー使用を抑制するため、不要な照明・空調をこまめに消し、空調の温度設定を省エネ推奨温度にするなどの施策を進めています。

また、社有車としてリースしている車をエコカーにしています。

その他、環境教育として「省エネ」、「地球温暖化防止」に関する環境学習DVDにより、発電所員に対して啓発活動を行っています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	本田技研工業株式会社 代表取締役 社長執行役員 八郷 隆弘
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都港区南青山2丁目1-1

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>◆特定規模電気事業 2014年度より、都内の需要家に対して特定規模電気事業開始。 まずは、当社内オフィスビルに対して電力供給しています。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	四輪事業本部 事業企画統括部 スマートコミュニティ企画室	
	連絡先	電話番号	03-5412-1165
		ファクシミリ番号	03-5412-1405
		電子メールアドレス	naohiro_maeda@hm.honda.co.jp
公表の 担当部署	名称	四輪事業本部 事業企画統括部 スマートコミュニティ企画室	
	連絡先	電話番号	03-5412-1165
		ファクシミリ番号	03-5412-1405
		電子メールアドレス	naohiro_maeda@hm.honda.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日		～	2016年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署に問合せ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	—	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	—	0.467	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	—	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	—	0.511	
			100%

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

CO ₂ 排出係数の低い発電所から電力調達を推進

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況
再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
—	—	(202)	10.87%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

太陽光発電所の積極利用の推進

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	0.00%	-	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

実績はありません

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社内で所有する火力発電所はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

当社の都内需要家に対して、電力使用状況を公開し、把握できるしくみを構築。。
グループ会社等への電力供給も視野に入れて検討を推進。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

それぞれの電力供給先拠点へ省エネ施策のノウハウを支援等、電力への理解促進を図る

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	丸紅株式会社 代表取締役 國分 文也
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区大手町一丁目4番2号

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・PPS事業 電力自由化対象のうち、主に業務用需要家(オフィスビル等)への電力小売事業を実施しています。「川崎クリーンパワー発電所」「中袖クリーンパワー発電所」を保有しており、当該発電所にて発電した電力と共に自家発電事業者より購入した電力を都内の需要家に対し電力供給を行っております。尚、長野県等において水力発電所(100%出資子会社)を別途保有しております。</p> <p>・風力発電事業 風力発電事業会社を国内1箇所保有し、発電出力合計約20,000kWの風力発電所を運用しております。尚、発電した電力は地域一般電気事業へ卸売しております。また、現在、着床式並びに浮体式の洋上風力事業に参画しており、着床式は約250,000kWの風力発電所を建設予定、浮体式は経済産業省の実証実験事業のコンソーシアムリーダーとして事業を継続推進中であります。</p> <p>・太陽光発電事業 太陽光発電事業会社を国内5箇所保有し、「大分ソーラーパワー」(2014年3月)および「木曾岬メガソーラー」(2014年12月)等が商業運転開始しています。またその他、全国各地にて太陽光発電所の建設を継続して予定しております。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	国内電力プロジェクト部国内電力プロジェクトチーム	
	連絡先	電話番号	03-3282-2602
		ファクシミリ番号	03-3282-3309
		電子メールアドレス	TOKB722@marubeni.com
公表の 担当部署	名称	国内電力プロジェクト部国内電力プロジェクトチーム	
	連絡先	電話番号	03-3282-2602
		ファクシミリ番号	03-3282-3309
		電子メールアドレス	TOKB722@marubeni.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日		～	2016年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	問合せがあった際に報告書を提出します。			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	212	268

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.470	0.505	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.447	0.345	
調整後CO ₂ 排出係数	0.500	0.554	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

各発電所よりの温暖効果ガス排出量の把握に努め把握率を100%としております。2013年度に卸電力取引所より排出係数の低い大規模火力発電所を買収したことなどにより、排出係数の上昇を抑えております。今年度においても、引き続き排出係数の低い発電所からの電力の調達を目指す予定でございます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
7,489 (52,927)	3.69%	4,331 (57,005)	10.75%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

東京電力管内においては、当社100%出資の子会社である三峰川電力(株)が山梨県北杜市に3箇所保有しております小水力発電所(出力:650kW)の運転を開始致しました(2012年4月)。

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
21,225	4.56%	14,167	2.28%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

引き続き清掃工場からの未利用エネルギー等による電力の調達に努めております。
今後も未利用エネルギーの利用促進を進めていく所存です。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

2008年度より保有・運転開始となった川崎クリーンパワー発電所においては、高効率ガスエンジンを導入することで、熱効率の高い発電を実施しております。
また、中袖クリーンパワー発電所においては、コンバインドサイクル発電機を導入することで、従来のシンプルサイクルに比べ、熱効率の高い発電を実施しております。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- お客様の省エネ計画に役立てていただくよう、電気の使用状況をお知らせしております。
- 弊社のCO2排出係数をお知らせし、各々のお客様がご自身のCO2の排出量を把握できるようにしております。
- お客様に対して、グリーン電力証書やRPS等の環境付加価値の提供のための提案を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

温暖化対策ビジネスとして下記事業を推進しております。

- ・排出権取引事業： 専門チームを組織し、クリーン開発メカニズム(CDM)、共同実施(JI)の手法を取り入れた案件の開発推進、排出権にまつわる情報提供・コンサルティング業務等を行うと共に、国内外の排出権取引市場において積極的に取引に参加し、CO2削減活動推進に取り組んでおります。
- ・風力発電事業： 国内では1箇所（合計出力：約20,000kW）、海外では9箇所（合計出力：約1,212,000kW）を保有しており、また今後も風力発電事業を展開していく方針です。
- ・小水力開発事業： 当社100%出資の子会社である三峰川電力株式会社において、小水力発電事業を推進しており、既存の水資源の有効利用や、遊休施設の再生等を行うことでCO2フリーの新規電源開発を行っております。
- ・グリーンエネルギー認証センターにグリーン電力証書の申請事業者としての登録を行い、グリーン電力証書設備認定を取得しております。またグリーン電力証書の普及促進を目指し、証書の発行・販売を行うと共に、自社の株主総会の使用電力の一部をグリーン電力でまかなっております。
- ・太陽光発電事業： 事業会社を国内5箇所保有し、そのうち「大分ソーラーパワー」(2014年3月)および「木曾岬メガソーラー」(2014年12月)等が商業運転開始しています。またその他、全国各地にて太陽光発電所の建設を継続して予定しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	三井物産株式会社 代表取締役社長 安永 竜夫
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区丸の内1丁目1番3号

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■特定規模電気事業</p> <p>弊社は、東京電力管内の電力自由化対象の業務用需要家を対象とした電力小売事業を2015年2月より開始しております。電力については、バイオマス発電、ごみ発電等の自家発電事業者からの調達を行っております。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	プロジェクト本部/国内プロジェクト開発部/第二営業室	
	連絡先	電話番号	03-3285-5988
		ファクシミリ番号	03-3285-9979
		電子メールアドレス	PPS-RenrakuTKMEG@dg.mitsui.com
公表の 担当部署	名称	プロジェクト本部/国内プロジェクト開発部/第二営業室	
	連絡先	電話番号	03-3285-5988
		ファクシミリ番号	03-3285-9979
		電子メールアドレス	PPS-RenrakuTKMEG@dg.mitsui.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日	～	2016年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	
		所在地:	
		閲覧可能時間	
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:		
	入手方法:		
<input checked="" type="checkbox"/> その他	問い合わせにあった際に提出する。		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.000	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	0.000	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.558	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

今後も、積極的に再生可能エネルギー、未利用エネルギー等の導入を進め、排出係数の低減に努めて参ります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	100.00%
-	-	(42)	

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

今後も引き続き再生可能エネルギーからの調達を可能な限り進めて参ります。

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

導入率は100%以下の数字で入力して下さい

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

昨年度はすべて再生可能エネルギー由来の電力からの調達のため、未利用エネルギーの利用実績はないものの、今後、需要量の変化等に応じて、未利用エネルギーの導入についても検討を進めて参ります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・当社は火力発電所を保有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・問い合わせのあった需要家の皆様には、電力の使用実績等の情報を開示し、各需要家の省エネルギー化にご活用いただいております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

■ISO14001による環境管理

・当社本店ならびに国内支社支店では1999年にISO14001を取得して以来、認証を維持してきました。主にオフィス活動における「紙・ゴミ・電気の削減」に取り組んでいます。2012、13年度は役職員の環境意識の向上を環境目的とし、各店舗が各々の状況に応じた目標管理を実施して成果を挙げることで、環境目的を達成しました。

■その他環境関連ビジネス

その他、当社では、国内外における植林事業、資源リサイクル事業その他の環境関連ビジネスを通して、地球温暖化対策に取り組んでおります。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	ミツウロコグリーンエネルギー株式会社 代表取締役社長 二見 敦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋本町3-7-2

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none">・発電及び売電事業 風力発電、バイオマス発電及びメガソーラー発電等の新エネルギーによる発電・コンサルティング事業 風力発電事業の経験を基に調査から事業者までのコンサルティング・新電力事業 特定規模電気事業者としての電力卸・小売供給事業

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	新電力事業部	
	連絡先	電話番号	03-3665-6311
		ファクシミリ番号	03-5695-1140
		電子メールアドレス	mge-pps@mitsuuroko.co.jp
公表の 担当部署	名称	同上	
	連絡先	電話番号	同上
		ファクシミリ番号	同上
		電子メールアドレス	同上

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日 ~ 2016年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	ミツウロコグリーンエネルギー事務所
		所在地:	中央区日本橋本町3-7-2
		閲覧可能時間	8:30~17:30
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
	<input type="checkbox"/> その他		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	23	33

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.431	0.433	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.013	0.384	
調整後CO ₂ 排出係数	0.546	0.514	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

昨年度よりバイオマス発電所及びごみ処理発電所、太陽光発電所による再生可能エネルギーの利用を促進しております。今後も再生可能エネルギー発電所との契約を進め環境負荷の低い電力調達に努めます。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
5,858 (5,858)	10.70%	(9,008)	11.83%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

東京電力管内において自社の出資する潮来(14MW)、富津(40MW)の大型太陽光発電所が運転を開始いたしました。
また、他社出資の4箇所の大型太陽光発電所から電力を受電しております。

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
1,969	3.48%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

清掃工場の入札に極的に参加いたしました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

東京電力管内において供給する自社火力発電所を所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

エネルギーの見える化を推進し、需要家がリアルタイムで電力の使用状況を把握できるシステムを導入しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

今後も再生可能エネルギー発電所との契約を推進し、さらに自社の太陽光発電所で発電される電気を需要家へ販売できる仕組みを構築しています。
なお、FIT電源に関しましては、国のルールで認められると思われる「FIT電源」と明示する予定でいます。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	リエスパワー株式会社 代表取締役 青木 博幸
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都豊島区東池袋四丁目21番地1号

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・PPS事業 弊社は、2012年12月から、工場、ロードサイド店舗、事務所等へ電力小売を行っております。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	業務部	
	連絡先	電話番号	03-6844-3500
		ファクシミリ番号	03-5960-1741
		電子メールアドレス	gyoumu@les.co.jp
公表の 担当部署	名称	業務部	
	連絡先	電話番号	03-6844-3500
		ファクシミリ番号	03-5960-1741
		電子メールアドレス	gyoumu@les.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日		～	2016年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署(業務部)に問い合わせ。			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.561	0.559	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.369	0.367	
調整後CO ₂ 排出係数	0.527	0.537	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量につき、前々年度の弊社排出量は「0.08(千t-CO₂)」、前年度の排出量は「0.13(千t-CO₂)」となります。
 ・再生可能エネルギーで発電された電力の購入を実施したが、発電量の低下に伴い削減目標が達成出来なかった。
 ・排出権クレジットの償却を実施したことにより調整後排出係数を昨年に引き続き「0」とした。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0 (0)	0.24%	0 (10)	4.79%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・前々年度実績の弊社利用量は0.366千kWhになります。
 ・再生可能エネルギーで発電された電力の調達を検討しております。

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・未利用エネルギーによる発電した電気の購入はありませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・火力発電所の所有が無い為、熱効率向上の措置の計画はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・需要家への電力使用実績の提供を行い節電対策の協力を実施。
- ・国内クレジット等で減少し、調整後排出係数「0」として国へ報告をしております。
その為、需要家へは環境付加価値の高い電力を積極的にPRしております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・再生可能エネルギー等で発電された電力の購入に向けた営業活動を実施しております。
- ・自社所有車のエコカー使用の継続
- ・社内におけるクールビズ、省エネ対策の実施の継続

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	ワタミファーム&エナジー株式会社 代表取締役 小出 浩平
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都大田区羽田一丁目1番3号

(2) 事業の概要

事業者の種別	<input type="radio"/> 一般電気事業者 <input checked="" type="radio"/> 特定規模電気事業者
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・PPS事業 弊社は、需要家として省エネに取り組んで参りました。小売のきっかけは、店舗や介護ホームで「電力の見える化のシステム」を導入し運用改善や設備改善に活用したことでした。その後、まずは需要家PPSとして調達改善に関わることで、再生可能エネルギーの普及や、持続可能なエネルギーへの選択が出来ると考え、現在は、グループ外の需要家様にも供給しています。</p> <p>・発電事業 グループ関連SPCで、風車1～3号機(秋田県)、ルーフソーラー2拠点(埼玉県食品加工2センター)、メガソーラー2プロジェクト(北海道15MW、19MW))に関わってきました。今年度中に、接続できるように進めていく予定です。</p> <p>・その他 グループ内店舗にて、省エネルギー対策として、選任者が巡廻して省エネアドバイスや、設備改善の推進を行っています。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エナジー事業本部 新電力ユニット	
	連絡先	電話番号	03-5737-2816
		ファクシミリ番号	03-5735-6636
		電子メールアドレス	m_takahashi@watami.net
公表の 担当部署	名称	環境貢献事業部	
	連絡先	電話番号	03-5737-2816
		ファクシミリ番号	03-5735-6636
		電子メールアドレス	wepps@watami.net

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法 ※公表期間は、2015年8月1日であれば、「20150801」のように区切り文字を入れずに入力してください

公表期間	2015年08月01日 ~ 2016年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	ワタミグループ本社ビル
		所在地:	東京都大田区羽田一丁目1番3号
		閲覧可能時間	10~17時
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.527	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.518	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

前年度は、需給管理及び調達を外部業者様に委託しており、意識して操作することは出来ませんでした。今後は、目標を立てて、取り組んでまいります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	(21)	1.88%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・ワタミグループ関連のSPCによる開発(風車1~3号機(秋田県)、
ルーフソーラー2拠点(埼玉県食品加工2センター)、
メガソーラー2プロジェクト(北海道15MW、19MW))
- ・今後は、弊社の電源として、接続していく予定。

※自社等発電所に限らず、再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績を記入する。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	0.00%	-	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

まだ具体的な案件はございません

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所はございません

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家PPSとして、外食店舗・介護ホーム、食品加工工場にて、電力の見える化と省エネを推進してきました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

今後の新規で需要家となるお客様にも省エネのご提案をして参ります。